

課題名	臨床検体を用いた疾患部位特異的な代謝活性のライブイメージング探索技法の確立と創薬への応用
研究代表者と所属	斎藤豊（中央病院・内視鏡科）
共同研究者と所属	阿部清一郎、他（中央病院・内視鏡科） 浦野泰照（東京大学）

■課題情報

機器分類 ( )内は一般的名称等*	該当に○（複数可）				いずれかに○	
	新規性				新規製品	既製品の改良
	方法	機構	材料	他		
診断機器 ( )		○				
治療機器 ( )						
手術機器・器具 ( )						
その他 ( )						

\* 「一般的名称等」は薬機法上の「一般的名称」または「内視鏡」「放射線機器」などでも可。

■進捗状況（実施済は●、現段階は○、未実施は空欄、該当せずは×）

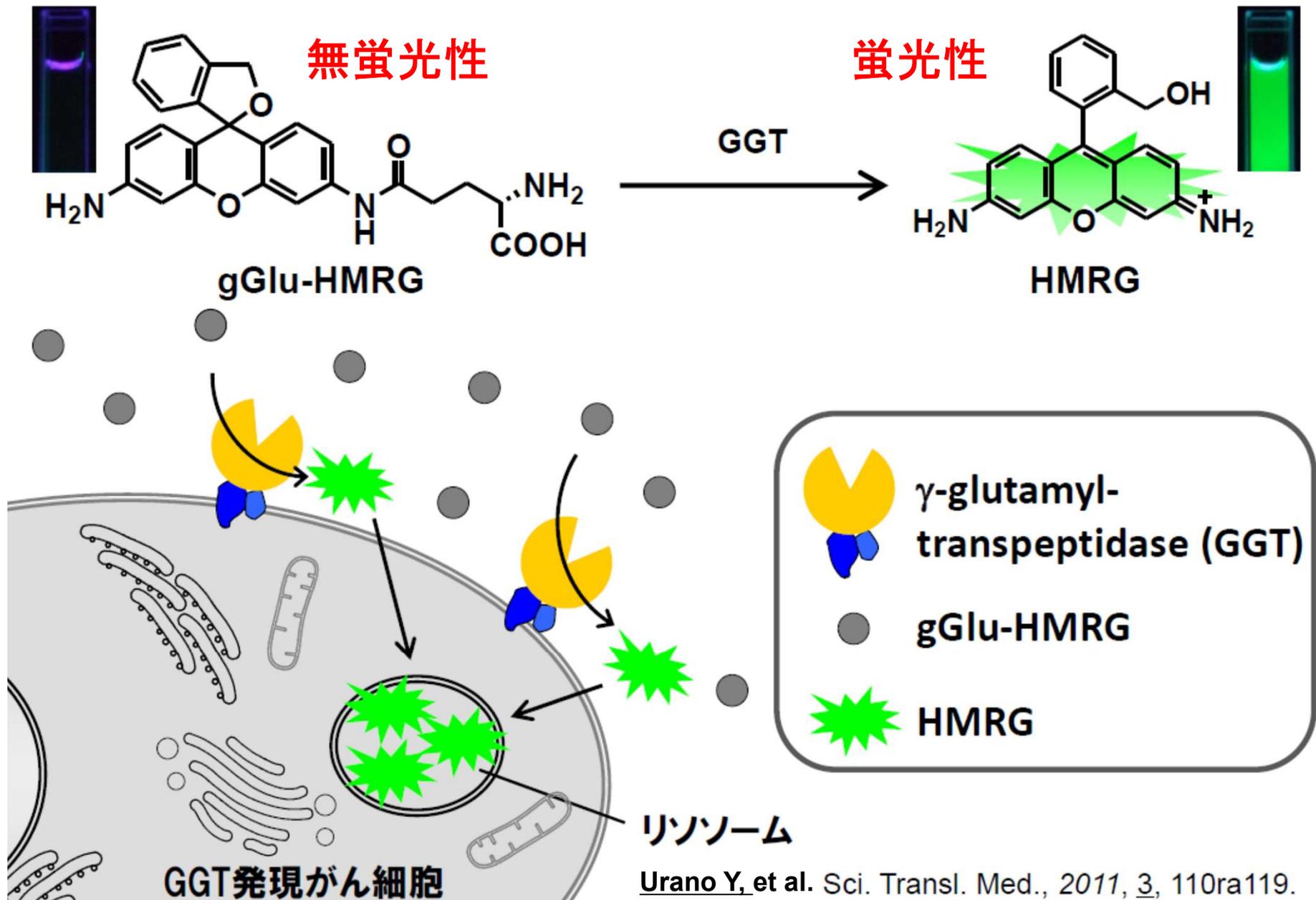
クラス 分類	ニーズ抽出 含アジェンダ	アカデミア 連携	企業マッチング			特許 出願	製品 試作	臨床 研究	治療 治験	保険 適用
			開発 合意**	NDA	共同研究 契約					
		●					○	○		

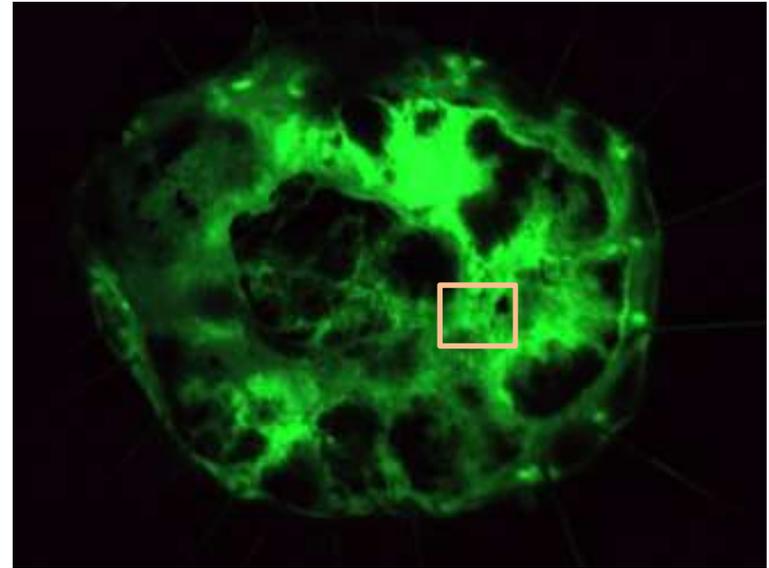
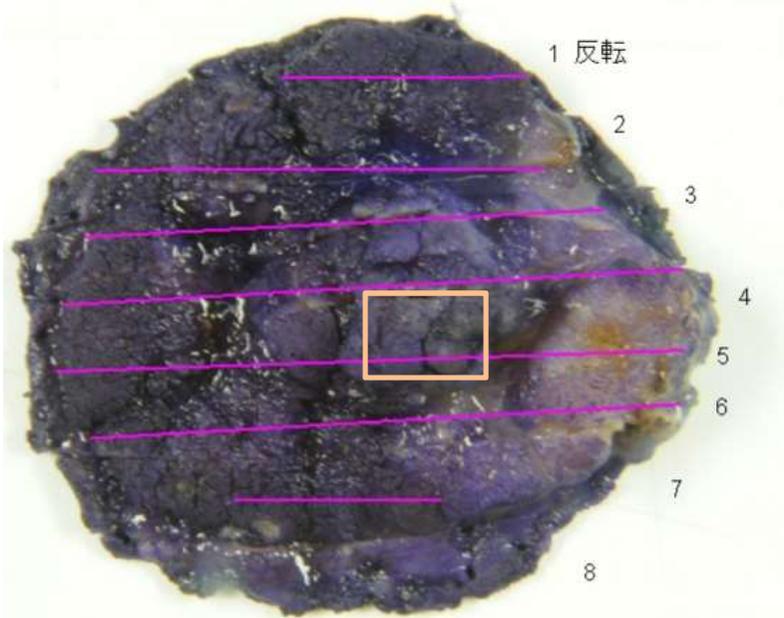
\*\* 「開発合意」は企業が開発に合意している場合に○。

■詳細情報

対象疾患	消化管癌
医療現場ニーズ	癌に特異的な代謝活性のイメージングが確立されると、代謝活性を利用した内視鏡による存在診断が可能になる。
アセットの概要	浦野らが、がんに特異的な蛋白に対する蛍光プローブの開発中。その技術を応用し、HER-2 など分子標的治療薬のターゲットとなる特異的タンパクの内視鏡的分子イメージングを可能にし、内視鏡的薬剤感受性診断を目指す。
関連する研究費 (申請中を含む)	AMED-CREST
論文、特許、共同研究等	Urano Y, et al. Rapid cancer detection by topically spraying a $\gamma$ -glutamyltranspeptidase-activated fluorescent probe. Sci Transl Med. 2011;3:110-9.

# 開発に成功したGGT活性検出蛍光プローブとイメージング機構





Well differentiated adenocarcinoma

